

事業費が増えるか、?



新ごみ処理施設事業（816億円）の見直しについて、「事業費の増減についてはわかりかねる」と市民環境部長が答弁。これを見ても市長は答弁に立ちませんでした。川上直喜市議の一般質問に答えたものです。12月10日午後・本会議

ふくおか県央施設組合議会（11月26日）で武井政一組合長（飯塚市長）が、計画の見直しを表明しました。

①物価や人件費が高騰する社会情勢②ごみの処理量



日本共産党飯塚市議
川上直喜

も人口や業者数の推移に伴って減少を理由にあげています。今後「処理能力など必要な事項の一部見直しを検討したのち、改めて公募」とのことです。

計画の見直しを決定したのは正副組合長会議（11月7日）ですが、その前も後も住民に対する説明はありません。

施設組合と飯塚市の幹部だけの見直しでは、規模は

縮小しても物価高騰の影響を口実に、事業費はかえつて増えることにもなりかねません。

川上市議は、住民説明会の開催を要求し、「正しい情報提供に基づいた住民の視点からの見直し、つまり、事業費の縮減にもつながるごみ減量、地球温暖化対策に貢献できる新たな方向を本市として組合に提起すべきだ」と求めました。

川上直喜市議は、議案質疑終了までに議長が辞職すれば正常化はすぐできると指摘し、議長を支える議員たちに「辞職を働きかけてほしい」と訴えました。

案質疑終了までに議長が辞職すれば正常化はすぐできると指摘し、議長を支える議員たちに「辞職を働きかけてほしい」と訴えました。

●不正常な事態を固定
9月定例会の後も江口議長は、辞職勧告決議を真剣に受け止めきれないまま辞職を表明せず、かといって、事態打開への気力も失ったまま、ただ漂うよう

に漫然と9月議会に続いて12月議会でも、議案の詳細な審査のために必要不可欠な常任委員会の付託を止めようと言いました。

これは不正常な事態をなし崩し的に固定させようとします。

川上なおき 活動日誌 12月4日-10日



- 4日 Thu 暮らしの相談（大分地区で農地を現地調査）
5日 Fri 暮らしの相談（現地調査2日目）
6日 Sat 12.8平和のアピール行動に参加（芳雄橋東）
7日 Sun 旧三菱炭鉱中国人強制連行・強制労働受難者慰靈祭（平恒）
8日 Mon 一般質問・議案質疑の準備
9日 Tue 本会議・暮らしの相談（トイレ修理・消火栓・街路樹）
10日 Wed 本会議（一般質問）

旧三菱炭鉱へ強制連行され労働犠牲者の慰靈祭

くつきり晴れて肌寒い12月7日、日曜の午後です。中国から遺族を迎えて行われた強制連行・強制労働犠牲者の慰靈祭（第2回）がありました。名前を刻んだ

穂波東小中一貫校やかえる寺に近い巻揚げ台座跡にありま

す。河北省・遼寧省・山東省で強制連行された中国人は1

88人です。



旧三菱炭鉱へ強制連行され労働犠牲者の慰靈祭

くつきり晴れて肌寒い12月7日、日曜の午後です。中国から遺族を迎えて行われた強制連行・強制労働犠牲者の慰靈祭（第2回）がありました。名前を刻んだ

穂波東小中一貫校やかえる寺に近い巻揚げ台座跡にありま

す。河北省・遼寧省・山東省で強制連行された中国人は1

88人です。

旧三菱炭鉱へ強制連行され労働犠牲者の慰靈祭